

# 友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ  
津山洋学資料館友の会

2022 March No.10



第 34 回友の会史跡見学会 愛山廟の儀姫墓所において（2 ページに関連記事）

## CONTENTS

第 34 回史跡見学会報告	
津山城下の史跡を訪ねて（城下編）	・・・2
友の会のあゆみ ⑥	・・・3
蘭学・洋学 三津同盟を締結しました	・・・4
古田映子さんからご寄附をいただきました	
40 周年記念誌まもなく刊行 !!	
植栽ボランティア参加者募集！	
薬草の小径から ⑦	
編集後記	

## 第34回史跡見学会報告

### 津山城下の史跡を訪ねて（城下編）

会員 真木美和子

2021年12月5日（日）、友の会の研修に参加できました。津山に来て、40年余りですが、歩いて廻ったことが殆どありませんでした。今更ですが、どんな町から、色々な業績が生まれたのか、興味を持っておりました。

朝、集合場所の郷土博物館で、わかりやすいレジメを受け取りました。作州種痘館跡付近（二階町）から出発しました。江戸時代の終わりに、しかもこの田舎の町の津山で、天然痘予防接種が行われていたことに驚きました。世界



愛山廟 マスクをはずして記念撮影

の新発見にちゃんと繋がっていたのだと思います。

すぐ近くには、久原躬弦・茂良生誕地もあり、現在薬局に使われている建物は、大正末期に茂良が建てたものです。ここに立つ案内石柱は2006年に友の会と二階町町内会が協力して立てられたものです。

次に、現在の小野形成・整形外科の周辺は、以前、芳村杏齋が病院を開業した跡地だそうです。

さらに椿高下の衣笠内科とその周辺は、明治屋を創業した磯野計の生家跡です。父湊が政争に巻き込まれ、「一家名断絶」となり、自殺も考えたそうです。しかし、明治屋創業という業績を成し遂げたのですね。

次に、そこから北西の津山藩医久原甫雲屋敷跡に行きました。さらに愛山廟に向い、津山藩主松平慶倫夫人儀姫の墓にお参りしました。彼女は40歳で乳がんを発症し、宇田川興齋と大坂



愛山廟 儀姫の墓

の華岡分塾 合水堂で学んだ国元藩医の久原洪哉らが治療に当たりました。

墓碑銘には、乳がんを患っていたことが記されています。儀姫は、東京で亡くなったのですが、遺言により夫の慶倫の墓所の隣に遺髪と爪が埋葬されました。

そして、最後の見学地、津山藩医宇田川興齋屋敷跡が北町の東端にありました。今現在は、屋敷跡の北西隅に解説板があり、そのことが書かれています。

津山市は戦災を受けていませんから、およそ300年の間の遺産が残っています。ですから、私たちは、大切に守っていかねばと思います。さらに、私たちは、この意識を次の世代の子どもたちの教育に生かして行ければと思います。なくなったらおしまいですよね。このような資料館による展示・研修・講演会によって、私たちは、これからも歴史遺産を楽しく学び、次の世代にも伝えられたらと考えています。



久原躬弦・茂良生誕地

#### 見学コース

- ① 種痘普及の地 作州種痘館跡付近 ⇒
- ② 久原躬弦・茂良生誕地 ⇒
- ③ 津山藩医 芳村杏齋開業地 ⇒
- ④ 明治屋創業者 磯野計生家跡 ⇒
- ⑤ 津山藩医 久原甫雲屋敷跡 ⇒
- ⑥ 津山藩主松平慶倫夫人 儀姫の墓 ⇒
- ⑦ 津山藩医 宇田川興齋屋敷跡

2021年 友の会創立40周年  
未来に向けて記録に残しておきたい  
～あんな出来事・こんな出来事～

## 友の会のあゆみ ⑥

「友の会のあゆみ」の第5回（第9号掲載）では、「ライデン事業—津田真道・西周顕彰事業—」の思い出をお話しいただきました。6回目となる今回は、地元津山にある箕作家墓所の整備事業についてお話を伺いました。

小林圭子編集委員 前回の「通信」

で掲載の通り、40周年記念事業として箕作家墓所整備を実施しましたが、1999年に続いて2回目ですよね。

下山純正顧問 1回目は箕作阮甫生誕200周年でしたね。当時、墓所の解説板は悲惨な状態でした。登り口は自然石がむき出し、雨で濡れていたら滑って危険でした。後裔や歴史愛好家が墓参されるわけですから、これを友の会で整備することになったわけです。新し

く石段を設置して、解説板も作りました。耐久性を考慮して解説板はジュラルミン板、その屋根は銅板拭きにしました。募金活動には多くの方から賛同を頂きました。

渡部紀子編集委員 その時は凄いいイベントがあったと聞いていますが、

下山 そうでしたかね。整備だけではもったいないと思い、除幕式の際に箕作家ゆかりの方々に集まって頂けないかと考えました。ただ、「墓所の解説板の除幕式にお越し下さい」だけでは説得力がありません。何か他に魅力的な企画はないか？と思索しました。

渡部・小林 どんな内容ですか？

下山 それは、解説板除幕式を行うにあたり、美作一円の箕作家・菊池家ゆかりの史跡を巡るバスツアーの企画です。

渡部 反応はどうでしたか？

下山 それは驚くほど多くの方々にご参加頂きました。除幕式の後、大型バス1台で箕作家が最初に住み始めた美作市檜原から、真庭市下皆部の菊池家墓所までを巡りまして。参加された方には大変喜んで頂きました。

小林 自分のルーツを知ることが出来た！という感じででしょうか。

下山 そうです。皆さんは子どもの頃から阮甫の子孫だと聞かされて育ったと思います。ですから、チャンスがあれば出掛けてみたいという気持ちで、常々持っておられたのでしょうか。

渡部 かけがえのないご縁ができましたね。

下山 地元の人たちによって、祖先のお墓が守られ続けていることに大変感激して頂きました。墓所整備事業や史跡巡りを実施したことにより、後日、資料館には箕作家・菊池関連資料の寄贈が相次ぎました。本当に感謝しています。

その後、津山駅前のロータリーに阮甫立像が設置された時にも後裔の皆さんにお知らせして、多くの方々に集まって頂きました。その事が契機となって、同族会「箕作会」を作ることになります。

東京の学士会館で発足しましたが、親族でもない私も集合写真に加えて頂きました。大変光栄な出来事でした。

その時「同族会名簿」が作成されましたが、阮甫から数えて、後裔が(当時)1115名にもなっていることが分かりました。友の会による箕作家墓所整備事業が箕作家の結集にも寄与したということ

です。

小林 「箕作会」発足のきっかけとなったなんて嬉しいお話ですね。

下山 こういう事を知る人が次第に少なくなると、やがて歴史に埋もれていくように思います。

やはり顕彰活動というものは一発火ではなく、地道に続けていかないと駄目ですね。継続することが大切だと思います。「同族会名簿」が後裔内に配付されたことで、資料館にも箕作家や菊池家の縁につながる皆さんが、ますます来館してくださるようになりました。

渡部 今後も友の会活動を活発にやっています。

下山 コロナ禍の現状ではなかなか難しいですが、収束後には、また新たな計画をして欲しいですね。

友の会の企画事業を通じて洋学者ゆかりの後裔の方々と交流を持つことは大変良いことですね。やり方を工夫すれば「洋学」に関心を持つ方も増えるのではないのでしょうか。人のつながりは大切です。

小林 今回も貴重なお話をありがとうございました。

友の会が楽しく洋学を学ぶことを目的として発足した事を思い起こし、多くの先駆者の方々の事をもっと知りたいと感じました。

## 蘭学・洋学 三津同盟 を締結しました

昨年11月18日、津山市は大部分中津市ならびに島根県津和野町と「蘭学・洋学 三津同盟」を締結しました。

同じ「津」の字でつながり、共通の歴史的背景を持つ3市町が、同盟の締結によって相互に連携・協力して学術研究と知的観光を盛り上げ、地域の活性化につなげていこうとするもので、津山市が提案して実現しました。

3市町はともに江戸後期から明治初期にかけ、優れた蘭学者・洋学者を輩出しています。

中津市では、『解体新書』の翻訳を主導した前野良沢、慶応義塾を創設した福澤諭吉などが出ました。

津和野町には、幕末にオランダ留学した哲学者で官僚の西周、陸軍軍



調印式後、資料館の前庭において記念撮影

奥塚正典 中津市長  
谷口圭三 津山市長  
下森博之 津和野町長

医で文豪の森鷗外などが出ています。津山市では、宇田川家三代、箕作阮甫、西周とともにオランダ留学した法学者で官僚の津田真道などが出ました。

さらに注目したいのは、中津の福澤、津和野の西、津山の津田は、いずれも日本初の学術団体「明六社」の結成メンバーだということです。来年は、この明六社結成から150年という節目の年に当たり、三津同盟に基づく事業の一つとして、記念企画展の共同開催を予定しています。

友の会としても研修バス旅行で中津市・津和野町を訪れたことがありますが、また改めて訪問したいと考えていたところでした。コロナ禍の中ではなかなか難しいですが、収束後は、今回の三津同盟の締結を生かして、泊付き旅行などを計画し、活発に交流を深めていきたいと思

います。

## 古田映子さんから ご寄附をいただきました

箕作家と縁戚関係にある呉文聰（ご）後裔の古田映子さんから友の会へご寄附をいただきました。来年度の事業など、活動に有効に活用させていただきます。誠にありがとうございます。

## 40周年記念誌まもなく刊行!!

40周年記念事業の一環として、その軌跡をまとめて記念誌を発刊することといたしました。現在、3月の刊行に向けて着々と編集作業が進められています。

創立30年までは既刊の記念誌の内容を簡潔にまとめ、31年目以降の10年間の歩みについて詳しく振り返っています。

将来に向けて守り伝えるべき友の会事業を記録し、今後の活動のさらなる充実につなげてまいります。

## 植栽ボランティア参加者募集!

4月24日(日)午後1時30分

資料館の菓草の小径と中庭の植栽整備活動を行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

※開催日に、岡山県にまん延防止等重点措置の適用、または緊急事態宣言が発出されている場合は中止にします。



**キンカン(金柑)** ミカン科  
中国原産の常緑低木。冬に黄色の実をつけ、それを食用・薬用とします。甘露煮や砂糖漬けは、解熱や咳止め、風邪に用いられ、金柑湯・果実酒は、疲労回復などに良いとされます。

## 菓草の小径から ⑦

## 編集後記

たまには歩いてみよう。

普段は車でビュッと通り過ぎている見慣れた場所も、歩いて見ると思わぬ発見があります。コロナ禍のためバスで遠出ができません。コロナ禍ですが、市内中心部の史跡を自分の足で訪ねるチャンスをただただラッキーでした。コロナ禍も悪いことばかりではありませんね。

三津同盟が締結されました。友の会も40周年を迎えます。これを機に、郷土の歴史への思いを更に深め洋学資料館から各地へ地縁と活動が広がって行くことを願っています。

友の会を40年もつなげてくださった先輩方への感謝とともに、記事の中で下山顧問がお話しておられるとおり「活動」が活発に「継続」して行くよう、会員皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。(W)

## 津山洋学資料館友の会通信 第10号

令和4年3月  
編集・発行

津山洋学資料館友の会

事務局 〒708-0833

津山市西新町5

津山洋学資料館内

☎0868-23-3324